片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

KATAGIRI English and Mathematics School

月がとっても蒼いから

「弱さ」があって「強く」なれる。強くなろう。大きくなろう。

「今年も九月に突入かぁ・・・」などと思いながら、しみじみと夜空に浮かぶお月さまを見上げておりますと、今年の初めからの出来事が頭の中に浮かんできました。いろんなことが浮かんでくるのですが、その中でも、今年になって私自身が塾生（塾OB）から教えられたことを思い出し、「今頃頑張ってるかな?」などと思ったついでと言っては失礼ですが、そのことを書いてみようと思います。

彼が入塾してきたのは高3の十一月でした。野球部に所属していた子で、早稲田大学に進学し、大学でも野球をするのを夢見ていた子でした。本人は推薦で進学しようと考えていたようで、十一月までほとんど受験勉強らしい勉強はできてなかったのですが、推薦はうまくいかず、一般入試での挑戦となってしまって当塾にやってきたのでした。「間に合いますかね?」と聞かれても「とりあえず死ぬ気でやれ」としか言ってあげることができませんでした。実際、入試まで、本当に必死になって頑張っていたと思います。が、結局、その年の受験はダメでした。補習科に進学?したということもあり、再び、塾に顔を出すようになったのが初夏の頃で、その時に受験から後、どうやって過ごしてたかを聞きました。彼曰く「自分は大学受験を甘く見ていた。何も分かってなかった。だから、まず、自分は勉強法から学ぼうと思い、早稲田で受験を終えたその帰り、東京駅にある本屋に寄り、そこで勉強法のことが書いてある本を買った。そこに、中学の力の大切さが書いてあった。自分はそこからだと思い、中学からやり直していた。」と、ちょっと照れ臭そうに言ってました。受験から後、深い反省と、絶望などがあり、精神的にも追い込まれたりもしたとは思いますが、そんな状況の中で、自分の弱点と素直に向き合えた彼は素晴らしい。彼が再び現れたその時には、「自分はやれる」という手応えを感じた顔になってました。実際、ここからが凄かった。どの模試だったかは忘れましたが、全国の成績優秀者欄に記載されるまでになっていたのを覚えています。本番では難関と言われる私立大学に片っ端から合格していきました。合格発表の度に電話をくれ、私もその度にガッツポーズをしてました。最後の本命である早稲田大学の発表でも合格したとの連絡をもらい、私は感心するばかり。しかし、しばらく本人は悩んだようです。勉強の楽しさを覚えてしまい、もっと学問を深めたいという欲求が強くなってしまったようで、野球をしようかどうしようかと・・・。そこは、初志貫徹ということで、今は野球に頑張っています。大学に行く前の三月にも顔を出してくれ、「自分はあの時推薦がうまくいかず辛かったけど、浪人もしてしまったけど、勉強を頑張って本当に良かった。」と言って笑ってた顔が忘れられません。

もう一人ご紹介。彼は随分前の卒業生で、今はとある国立大学の医学部へと進学し頑張っております。彼が久しぶりに顔を出してくれたのは、あの三月十一日。しかも午後二時五十五分。「車のラジオで言ってたんですけど、何か大きな地震があって、大津波警報っていう聞いたこともない警報が出てるみたいですよ」と言いながら入ってきた。その時は冗談だと思って、「へぇ～、そう」とか言っただけだったのですが、何と言いますか・・・、です。話の内容は、ほとんどが他愛もない話だったのですが、「いよいよそろそろ国家試験ですよ」ってな話になった。「そうかぁ。頑張れよ」って声をかけ「頑張ります」と返事があり、本当に何気ない会話の後、弱気なことをあまり言わないタイプなのに「けど、学んで医療の現場を知れば知る程、やはり怖くなることもあります。けど、負けませんよ。」と言う。医療の現場というものは、人の命を扱うだけに、想像以上の責任の重さがあり、その道に進もとする者のプレッシャーも相当大きいようです。それにしても、いつも強気なくせにらしくないことを言うなぁ、という感じで見ていると「あ、こう見えても、人一倍、人のためになりたいと思って自分に負けないように頑張ってるんですよ」と、笑いながら、また来ます、と言って帰っていった。彼が高校を卒業した時ぐらいだったか、「自分は絶対に負けたくない。だから誰にも負けないくらい努力をしたと言えるだけの自信がある。」と言っていたのを思い出しました。彼が所属していたのは結構忙しい部だったのですが、それでも、毎日、時間ベースではなく問題数ベースで自分にノルマを課し、ノルマをこなせない日は夜中の3時までかかっても頑張っていたと言ってました。高校の時のあの頑張りは、「人のためになりたい」という強い思いからだったのか、などと今になり過去の彼の言動と彼の思いが繋がり、胸を打たれたのでした。

2件のお話を書かせて頂きましたが、塾生と日々接していると、教えられること、感動させられることが多いです。何故にこうも感動してしまうのか？そんなことをお月さまを愛でながら考えておりました。頑張ったから胸を打たれたのか？ いや、頑張ったからだけでこうも胸を打たれはしない。 では何だ？ などと自問自答しておりましたところ、ふとある結論に行き着きました。

感動を与えてくれる人に共通して言えること。それは「弱さ」の中で頑張りながら「強さ」を身に付け大きくなろうとしていることです。その頑張りは、何となく人間臭く、愛すべき魅力を放ってくれます。

人それぞれ「弱さ」はあります。しかし、それに気付かなかったり、見て見ぬふりをしたり、認めなかったりすることは多いと思います。逆に、「弱さ」に気付き、認め、向かい合うには大変な「強さ」が必要だと思います。「弱さ」の中でもがきながら、少しずつでも前に進もう、強くなろう、大きくなろうとして、人間的にも魅力のある大きな人に成長していくのだろうな、と思います。

「弱さ」があって人間。「強く」なろうともがくのも人間。日々、少しずつ「強く」なり、魅力ある人間になれれば良いな。お月さまを見ていると、何だかそんなことを考えてしまったのでありました。

坂本教室から授業サポートスタッフ募集のお知らせ

坂本教室では、塾運営全般をサポートしてくださるスタッフを募集しています。

☆求める人材　4年生大学卒以上、人と接することが好きな方
☆仕事内容　電話応対、受付業務、教務補助など
（一斉授業の講師が可能な場合は指導力により、時給優遇致します。）
☆勤務時間・曜日　月曜日～土曜日（15：00~22：00）
（勤務時間については相談に応じます。）
※面接にて決定致しますので、まずは坂本教室までご連絡ください。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

坂本教室からのお知らせ

坂本教室の9月の休日は、
4日(日) 11日(日) 18日(日) 25日(日) です。
尚、10日(土)は、観一祭の為、
坂本教室は16:00～となります。
塾からのお知らせなどをホームページにて配信中！
http://www.katagirijuku.com
メールでの連絡はこちらまで
→ katagirijuku@docomo.ne.jp